

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311052000049
施設名	BabyOne
施設所在地	東京都目黒区鷹番1-15-3
法人名	株式会社 BabyOne

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本と子どもと眠りについて

<テーマの設定理由>

昼寝時間、まだ眠くないと眠れずにいた子が絵本を通し気持ちが落ち着き、自然と眠気を感じられるようになった経験から、園でも絵本の時間を通して子が自分と向き合える時間や空間作りをすることで子どもの欲求や興味感心に今以上に寄り添えるのではと考え研究テーマとした。

2. 活動スケジュール

9月～ 提案・計画・周知
11月～ ハーブ演奏会の中で大型絵本「はらぺこあおむし」
12～3月 環境設定・実施

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・プロジェクター設置
- ・保育室の一部リフォーム（絵本・静かスペースとして）
- ・絵本玩具収納棚の作成
- ・大型絵本、その他絵本購入

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・大型絵本「はらぺこあおむし」をハープの演奏会で披露（11月）
- ・眠る前の時間で絵本の時間を設け眠りたくない時間への工夫をする。（12月～）
- ・保育室の中に静かコーナーの設置
- ・絵本が見られるプロジェクターの室内設置

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（2歳児）絵本の物語を暗記して読みこむ姿。3冊程好きな絵本を読み終えると満足したように「お布団いく」と自分から眠気に気付いて布団に入り入眠することができた。

（1歳児やりとり）絵本を縦使いしてノートPCに見立てている。「これは消防車？」との友の問いかけに「これはバスの消防車でしょ」と言っては隙間でPCを操作するような姿がある。まるで母のように子に教えてあげる姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

当たり前で過ごしていた昼寝前の時間を子どもたちの姿や言葉を聞くことで、ありのままうけとめその瞬間に寄り添うということの大切さに今回のテーマ・活動を通して気付かせてもらえた。子ども自身も自らの眠気に気付いたり、区切りを自分でつけられるようになったりもしていたように感じる。また、そういった姿を職員で共有することで、どう環境を工夫すればよいかも全体で考えられるようになってきたと感じている。